

# HPH タスクフォース「SDH と HPH マネージメント」計画書

期間：2年間

タスクフォースの名称	SDH と HPH マネージメント
記載者氏名・所属	舟越光彦（日本 HPH ネットワーク コーディネーター）
活動の目標 (アウトカム、箇条書きで)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. HPH 自己評価マニュアルの活用を普及 アウトカム目標 ①すべての加盟事業所で自己評価を行う。 ②30%の事業所で、改善計画を立てる。</li> <li>2. 貧困評価介入ツールの普及 アウトカム目標 ①すべての加盟事業所で患者の経済状態の評価を行う。 ②30%の事業所で、ツールを使用する。</li> <li>3. ヘルスプロモーションの包括的な QI システムの普及 アウトカム目標 ①5%以上の事業所で、QI システムを運用する。 *ここでいう QI システムは、生活習慣と SDH の両者からなる健康の決定要因についての評価と介入状況の測定システム。</li> </ol>
活動内容 (カンファレンスでの企画も含む)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. HPH 自己評価マニュアルの活用を普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価マニュアルの活用を普及するために、定期的に年1回の使用状況の調査を行う（モニタリング）。</li> <li>・各指標のベンチマークの公表（定性評価と定量評価）</li> <li>・ワークショップを活用した教育機会の提供。</li> <li>・レターで良好事例の紹介。</li> </ul> </li> <li>2. 貧困評価介入ツールの普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済状態の把握状況について、定期的に年1回の使用状況の調査を行う（モニタリング）。</li> <li>・ワークショップを活用した、貧困評価介入ツールの普及（貧困治療ワークショップ）。</li> <li>・レターで良好事例の紹介。</li> </ul> </li> <li>3. ヘルスプロモーションの包括的な QI システムの普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンス、ワークショップ、レター等での良好事例の紹介。</li> </ul> </li> <li>4. その他の関連する課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問審査：自己評価マニュアルの実施状況についての訪問審査。台湾では、“Healthy Hospital Certification“。</li> </ul> </li> </ol>
開始時期	2018年7月頃